

# わかやま産業通信

Wakayama Industrial News Magazine

第14号

令和4年8月31日発行

## Top Runner Interview

株式会社農業総合研究所

代表取締役会長CEO 及川智正氏 — P1

株式会社早和果樹園

代表取締役会長 秋竹新吾氏 — P3

## Next Runner Interview

choux

代表 矢倉実咲氏 — P5

株式会社ソマノベース

代表取締役社長 奥川季花氏 — P6

## キラリ☆輝く県内スタートアップ!

事業案内 わかやま地域課題解決型起業支援財団の創業支援メニュー — P7

支援案内 — P9

# スタートアップ! わかやま

地域経済・中小企業・小規模事業者を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中、起業して短期間で成果を上げ、社会に変革をもたらすスタートアップに注目が集まっている。  
本号では、地域産業をリードするイノベーター、地域課題や社会問題に切り込む新進気鋭の若手起業家に、和歌山で創業した想いとそのビジョンを聞いた。

わかやま産業通信

第14号

令和4年8月31日発行

わかやま産業振興財団が発行する広報誌

## あなたの会社・お店の10年後を 考えてみませんか

# 事業承継

を全力で応援!

このようなお悩みを抱えている方は、  
ぜひ一度ご相談ください!

後継者が決まっていない・後継者候補がない

事業を引継ぎたいが、手続きがわからない

事業承継の際に経営者保証を解除したい

「資金調達」をはじめ、経営支援・創業支援・事業承継等、全力でサポート!!

広がる夢のおてつだい  
和歌山県信用保証協会

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

【お問い合わせ先】  
創業・事業承継サポートデスク  
本所 TEL:073-433-9722  
田辺支所 TEL:0739-33-7061

信用保証協会は、中小企業・小規模事業者の金融円滑化のために設立された公的機関です。

<発行>

公益財団法人  
わかやま産業振興財団

リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

VEGETABLE INK この印刷物は地球環境に優しい植物油インキを使用しています。

〒640-8033 和歌山県和歌山市本町二丁目1番地 フォルテワジマ6階  
●JR和歌山駅下車 ③番乗り場 和歌山バス「本町2丁目」下車  
●南海電鉄和歌山市駅下車 ①・②番乗り場 和歌山バス「本町2丁目」下車  
TEL 073-432-3412 / FAX 073-432-3314  
URL <https://yarukiouendan.or.jp/> / E-mail [info@yarukiouendan.jp](mailto:info@yarukiouendan.jp)  
年2回発行 第14号/印刷所 白光印刷株式会社





A. 都会のスーパー内『農家の直売所』。全国の集荷場から直送された新鮮な青果物が並ぶ  
 B. 紀の川集荷場  
 C. 紀の川集荷場にオクラの納品に来た小林さん。和歌山で農業を始め、二年前に独立したのを機に農直システムを利用し始めた。「販売価格を自由に決められる農業は楽しい」と話す  
 D. システムの利用者に開示される青果物の販売情報画面(一例)。相場情報は同社の社員が店頭で青果物の価格をチェックして日々データを更新している  
 E. 農直システムのサービス『農直アプリ』の「おいしいね!」送信画面。消費者は手に取った青果物の生産者の情報を閲覧し、生産者にリアクションしたり、ダイレクトメッセージを届けることができる



## Top Runner Interview

株式会社

# 農業総合研究所

所在地 和歌山市黒田99番地12 寺本ビルII 4F

創業 2007年



代表取締役会長CEO **及川 智正**

### Profile

1975年埼玉県出身。1997年に東京農業大学農学部農業経済学科を卒業後、1997年株式会社巴商会に入社。2003年に退職し、和歌山県で新規就農。2006年にエフ・アグリシステム株式会社へ入社。2007年に株式会社農業総合研究所を設立(代表取締役)。2016年農業ベンチャーとして初めて東京証券取引所マザーズに上場を果たす。2020年に流通総額100億円を達成



## 「まずやる。リスクを背負ってまずやる」 「情熱があれば、誰だって、なんだってできる」

創業からわずか9年で農業ベンチャー初の上場を果たし、青果物の流通総額が100億円を超えている企業が和歌山市にある。

全国の都市部を中心としたスーパーマーケットで『農家の直売所』を運営する農業総合研究所だ。今、JR東日本や日本郵政などの資本業務提携で急成長を遂げている。

スタートアップの好事例といえる同社の創業やビジョンについて、創業者の及川智正会長にお話を伺った。

**豊作貧乏をなくしたい**  
 農業従事者の減少と高齢化、耕作放棄地の増加、食料自給率の低下など、多くの問題に直面している日本の農業。

大学時代にそれら諸問題に危機感を抱いた及川会長は、日本の農業のために自分ができることはないかと考えた。

社会人となり、結婚を機に移住した和歌山で、まずは農業の現場を知ろうとキュウリ農家を始めた。

待っていたのはキュウリを作って農協を持って行き、グラムで買い取られる日々。自分の生産物がいつ、どこで、いくらで売られて、どんなお客様が食べているかはわからなかった。

前職の営業の経験から、お客様の声を聞くことが仕事のやりがいに繋がると考えていた及川会長は、「お客様の顔が見えない」その状態を「つまらない」と感じたという。

また日本の農業市場は、豊作になればなるほど市場に流通する青果物が供給過多となり、市場価格が下落し、農家の手取りが減ってしまう。い

わゆる「豊作貧乏」も経験した。「農業の仕組みが悪いから、農家の担い手不足を招き、日本の農業が衰退していくのではないかと。豊作貧乏をなくすることはできないか」

そう考えた及川会長は「日本の農業を改革しよう」と決意した。

そこから、大阪での産直八百屋の経営を経て、生産と販売の現場をつなぐ「流通」の重要性に気づき、農業流通を改革する会社を立ち上げたのだ。

**財団のファンド事業で基幹システムを構築**  
 「日本の農業を良くしたい、豊作貧乏をなくしたい」との想いで、創業から9年の上場まで駆け上がった及川会長。

いまや農業ベンチャーの起業家として有名だが、起業や会社経営、上場はそれ自体が目的ではなく、すべてビジョンを達成するための手段に過ぎないと強調する。

創業資金はわずか五十万円。県や金融機関を頼った。また、財団の「わかやま中小企業元気ファンド事業(☆)」も活用し、「農家の直売所」の基幹システムを構築した。

「財団のおかげで会社をステップアップさせることができました。当時、担当の方が何度も事務所まで来てくださった。よく相談にのってもらいました。時にはただ愚痴を聞いてもらうことも(笑)。財団にはいつも前に進む力をもらっていたように思います」と笑顔を見せた。

### 生産者と消費者をつなぐ

「農家の直売所」では、ICTで農家と消費者をつなぐプラットフォームを提供している。

農家は青果物の市場価格や店舗情報などの情報を得ながら、青果物の販売先と販売価格を決めて所得拡大を目指す。

一方、消費者は手に取った青果物の生産者の情報を得ながら、直接、生産者にリアクションやメッセージを送ることができる(現在関東圏を中心にサービスを展開。双方のコミュニケーションを実現した格好だ。

また一般的な市場流通では農家が青果物を出荷してからスーパーに並ぶまで3〜4日かかることを、同社は独自の物流により出荷から原則1日での店頭出しを実現。農家の生産物が熟度や鮮度が高い状態で消費者の元へ届けられている。

現在、全国の集荷場は97カ所、提携先は約2000店舗、約1万名の農家が登録(2022年7月時点)。

6月には、JR立川駅構内に期間限定で農家の直売所をオープンした(表紙)。反響は大きく、今後も駅構内での出店を継続するという。

**市場外流通と市場流通へ関与する**

順調に拡大を続ける「農家の直売所」だが、及川会長はそれだけでは「豊作貧乏はなくなる」と認識している。

当初、農家が販売先と価格決定権を持っては実現できるものと考えていたが、まだまだ市場の相場価格の影響

響が大きいという。

そこで同社は2020年に産直卸事業を開始。また昨年12月には、「富山中央青果」と資本提携した。

及川会長は「市場外流通と市場流通へ関与し、余剰分を市場に流さない仕組みを構築する」と狙いを語った。

**ビジョンの実現に向けて**  
 同社のビジョンは、「持続可能な農業産業を実現し、生活者を豊かにすること」。

日本、そして世界から、農業がなくならない仕組みを作り、同社が「ビジネス」として魅力ある農産業の確立を進めて豊作貧乏をなくす。

そのためには、同社が農産物流通の全てに関与し、市場への影響力を持つことが必要だと考えている。

その数値的な指標として、2035年までに流通総額1兆円を掲げた。事業を拡大しながら、今後も他社との協業や資本提携、業務提携で、スピード感を持った成長を続けていくという。

**起業をめざす人へ**  
 「起業はハードルが高いと思う人がいるかもしれませんが、僕だっ

てゼロから百億円の流通総額を作ることができた。様々な支援制度や手段がある時代です。情熱さえあれば、誰だって、なんだってできる。情熱を持ってぜひ挑戦してください」

及川会長は「まずやる。リスクを背負ってまずやる」ことだと、力強く語ってくれた。

☆p8をチェック!





B. 1979年創業当時の早和共撰のメンバー。7戸のみかん農家が結集した



D. 2022年7月にオープンしたばかりの早和果樹園南紀白浜店。法人カラーである「みかん色」で統一された店内は、お客様を早和果樹園の世界に誘う

# Top Runner Interview

株式会社

## 早和果樹園

所在地 有田市宮原町新町275番地1

創業 1979年



代表取締役会長 **あき たけ しん ご**  
**秋竹 新吾**



A. 代表取締役社長 秋竹俊伸氏(左)と代表取締役会長 秋竹新吾氏(右)

### Profile

1944年有田市出身。県立吉備高校(現有田中央高校)柑橘園芸科を卒業後、実家の果樹園を継承して就農。1979年、7戸のみかん農家が集まり早和共撰を創業。2000年に法人化。2005年に株式会社早和果樹園へと改組して現職  
2014年、6次産業化優良事例で農林水産大臣賞を受賞  
2017年、代表取締役会長に就任。旭日単光章受章  
2020年に著書「日本のおいしいみかんの秘密」を出版



## 「停滞しない。後ろ向きにならない。人生と同じで、前を向いて進めば面白い」

和歌山県産みかんの生産から加工品の製造、販売までを手がける早和果樹園。

「6次産業」の成功企業として、2020年に第21回全国果樹技術・経営コンクールで最高賞の「農林水産大臣賞」を受賞。その後も、みかんの付加価値を高める製品開発で国内外に「おいしい有田みかん」を届けている。

地域産業をリードしながら成長を続ける同社は、2017年に創業者の秋竹新吾会長から秋竹俊伸社長への事業承継も果たした。

今回、そんな同社の創業やビジョンについて、お二人にお話を伺った。

### 「みかん専業で食べていく」

秋竹会長は有田市出身。みかん農家に生まれ、高校卒業後に家業を継いだ。安泰と言われていたみかん農家だったが、ほどなくして、みかんブームが到来。全国でみかんの生産量が爆発的に増え、価格が暴落していった。

生産量が350万t(現在の約5倍)を超えた頃には、みかん農家は専業では食べていけない風潮が広がり、兼業農家になったり、みかん農家をやめる人が増えていったという。

そんな時代に、秋竹会長ら7戸のみかん農家は創業した。その背景には、「みかん専業で食べていく」という強い思いがあったと秋竹会長は話す。

周囲のみかん農家が自分の子供達に「みかんはもうあかん」と伝える中、秋竹会長は絶対そうは言わないと心に決め、次代につなぐためのみかん

農家の在り方を探し始めた。**ハウスみかんづくり**

これからの時代、天候の影響を受ける露地栽培だけではいけないと考えた秋竹会長は、当時出始めたハウスみかんに注目した。

ハウスでつくられる夏の贈答用のみかんは美味しく、冬のみかんとは比べ物にならないくらい価格が高い。当時、ハウスみかんの生産には膨大な費用がかかり、成功率も低かったが、同共撰は安定的な栽培に成功した。その成功の秘訣を秋竹会長は「勉強」と一言。

県外の先駆者に栽培方法を学び、試験場に何度も足を運んだ。色んな文献も読み漁った。そうしてみかんの生態を知り、ハウスの中で最高の気象条件を作り出すことで、最高に美味しい有田みかんをつくり出すことに成功したのだ。

### 事業承継のための法人化

ハウスみかんが同共撰の安定部門になっていった頃、JAから大型共撰に入らないかと声をかけられた。

悩んだ秋竹会長は、未来を担うのは子供達だと考え、後継者となろうとしていた7戸の農家の息子達に意見を聞いた。

すると、「親父らのように、自分達でつくったものを自分達で売りたい」と答えが返ってきたことから、秋竹会長は覚悟を決め、法人化した。当時55歳、事業承継を見据えた運送きの社長デビューだった。

### 会社と想いを引き継いで

社長職を引き継いだ秋竹社長にもお話を伺った。

就任後、秋竹社長はまず、社内の組織体制の改革に乗り出した。トップダウンではなくボトムアップ型で社内の調和をはかり、全社一丸となって成長路線を探る。

また「6次化の拡大」を掲げ、生産、加工、販売全てに注力する中で、ブランドロゴや既存商品のパッケージを刷新。社員の育成や新規採用にも力を入れていく。

7月には直営ショップ「早和果樹園本社店」に続き、白浜町の「とれとれ市場」に念願の2号店をオープン。自慢の商品がズラリと並んだ店頭で社員と共にお客様を迎えた。

秋竹社長は「今後も和歌山から美味しい有田みかんを世界中に届けるために一生懸命取り組みたい」と意気込んでいる。

### 起業をめざす人へ

「法人化を勧めます。当社は法人化でみんなの覚悟が決まり、どんどん良い方向に進みました。それがなかったら絶対に今の形にはなっていないでしょう。人生と同じで、前を向いて進んだら面白い。止まっていてはダメ。後ろを向いてもダメ。前を向いて新しい方へ進んでください(秋竹会長)」

☆p9をチェック!

**展示会で販路を急拡大**  
土産物市場に活路を見出した同社は、大型土産物店での販売を開始するとともに、展示会出展に注力して販路の急拡大に成功した。

同社は今でも財団の「わかやま産品商談会in和歌山(☆)」に毎年出展している。秋竹会長は「営業方法がわかなくても、展示会はバイヤーが向こ

## みかんの6次産業



生産(1次産業) 加工(2次産業) 販売(3次産業)



# choux

所在地 田辺市本宮町本宮1571番地15  
創業 2020年



代表 矢倉 実咲

## Profile

1992年白浜町出身。2011年神戸製菓専門学校を卒業後、東京のパティスリーで5年間勤務。2016年に帰郷し、白浜町のホテルで3年間パティシエとして勤務。2019年に本宮町へと移住し、2020年「choux(シュー)」を開業



## 「地元和歌山から 美味しい！を届けたい」

### 熊野本宮との出会い

「地元の人々に喜んでもらえるこ

「choux(シュー)」は、世界遺産・熊野本宮大社のそばにある洋菓子専門店。梅酢チーズケーキやプリンがシューケースに並び、なかでもメイン商品のシュークリームはひときわ華やかな存在感を放っている。その評判は「本宮に行くならこのシュークリームを買ってきて」と頼まれ来訪するお客様がいるほど。今回、そんな人気店を開業した「choux」の代表でありパティシエの矢倉実咲さんにお話を伺った。

### 自分にはしかできないこと で和歌山の魅力を発信

白浜町生まれの矢倉さんは、神戸製菓専門学校を卒業後上京し、パティスリー「アヴランシュ・ゲネー」にて上霜考二氏に師事。学べば学ぶほど奥深いフランス菓子の歴史に魅力を感じる一方で、ふるさとである和歌山県の歴史は、ほとんど知らない自分に気が付いたという。「東京のお店でたくさんパティシエたちと仕事をするなかで、自分にしかできないことは何なのかと考えていた。そうして自分を振り返ったとき、出身地である和歌山の魅力を研究することで、自分にしかできないことが見つかるのではないかと考えた」と話す。

地域ならではの魅力を探りながら、東京での多くの学びをアウトプットすることで、自分にしかできないことを形にしたいと思い、白浜町に戻ることを決めたという。

### 財団との出会い

創業にあたっては、財団の「わかやま地域課題解決型起業支援事業(☆)」を活用して「choux」をオープンした。「財団には親身になって色々な相談に乗っていただき、本当に感謝しています」と笑顔をのぞかせる。



シュークリーム1個税込350円、ホールケーキやコーヒーなどのドリンクメニューも用意

☆p8をチェック!

### 「本当の美味しさ」を求めて

同時期に出演したテレビの反響も大きく(日本テレビ「幸せボンビーガール」)、開業以来、全国から訪問客が訪れている。ただ、その分、完売で買うことができず、肩を落とすお客様も多く、そんな矢倉さんはいつも申し訳ない気持ちになるという。

しかし、無理をすれば生産量を増やすこともできるが、同店では開業当初から一貫してクオリティを重視してきた。「本当に美味しい」という信頼の品質を維持するために、数知れない細やかな工夫を凝らす製菓の仕事では「常に探偵のように疑いの目を持ちながら、製菓づくりの環境と条件を厳しくチェックしている」と矢倉さんは話す。

現在は製造スタッフの育成に力を入れながら、地域のフルーツを用いた季節限定の新メニューの開発に取り組んでいるそうだ。

### 起業をめざす人へ

「物事を始めるにあたり様々な人と話す中で、他者の意見を聞くことはもちろん大事ですが、時に自分に必要のない意見は流していくことも必要です。その判断が自分で出来るかどうかが大事なのではないだろうか」

株式会社

# ソマノベース

所在地 田辺市文里2丁目24番地5  
創業 2021年



代表取締役社長 奥川 季花

## Profile

1995年那智勝浦町出身。2018年同志社大学を卒業後、福岡県の株式会社ボーダレス・ジャパン起業家採用。2019年田辺市の株式会社中川の広報業務を手伝いながらソマノベースを個人事業として立ち上げる。2021年田辺市に移住、株式会社中川に入社。会社員をしながら2021年に株式会社ソマノベースを設立

おくがわときか 奥川 季花

## 「社会問題を 自分事化してもらおう。」

### 紀伊半島大水害で被災

奥川社長は那智勝浦町出身。高校生のときに紀伊半島大水害で被災し、身近な人を亡くしたことから、「地元を貢献したい」「土砂災害で亡くなる人をなくしたい」と強く思うようになったという。

手探りで情報を収集する中で、水害と山林が深い関係にあることを知り、自然災害のリスクを減らす「防災」こ



MODRINAE

今年7月に東京で開催された「国際サステナブルグッズEXPO」。Eco、エシカル、オーガニックなどの関連商品が勢ぞろいし、全国から多くの企業が商談のために集まった。田辺市の林業ベンチャー、ソマノベースもそのひとつ。和歌山の県木ウバメガシの苗をセットした同社の「MODRINAE(以下、「戻り苗」)は、多くの企業の関心を集めていた。「戻り苗」とは、顧客が家やオフィスで地域の苗木を育て、苗木が育ったら同社に預けて、地域の山に植林してもらうというもの。観葉植物のようにインテリアとして楽しみなが、手軽に「山つくり」に参加することができる。このエシカルなアイデアを具現化した創業者の奥川季花社長にお話を伺った。

### 林業の世界へ

奥川社長は林業の情報収集のため、全国の林業家を訪ねた。すると、日本の林業に様々な課題があることがわかったという。

まず国産の木材の需要が外国産の安い木材の輸入により減ってしまい、伐採後も植林されずに放置されている山が増えていること。その「皆伐地(かいばつち)」が災害時の土砂災害のリスクを高めていることや若手林業家が自力で収益化を図るためのノウハウや知識を得る機会が不足していることなどだ。また、林業の情報自体があまり世に出回っておらず、その詳細や現状を把握するのに自身が二年の歳月を費やしたことから、「林業の情報をわかりやすく社会に発信し、世間の森林保全に対する関心を高めること、社会の問題を自分事化してもらおうことが大切だと感じている」と奥川社長は話す。

大学卒業後、自身の森林保全のビジネスプランを事業化するため、ソーシャルビジネスを行う企業に就職したが、林業の現場から距離ができてしまったと感じた奥川社長は、地元林業家との交流の中で、地元の林業界に身を置くことでこそコアな情報を発信していけると、Uターンを決断。田辺市から新たな一歩を踏み出した。

なお、奥川社長は同社の立ち上げ前に、東京の学びの場で活動した時期があり、その際に同社を立ち上げたメンバー達と出会っている。実は「戻り

### 財団のフル活用で 次のステップへ

同社は昨年、財団の「わかやま地域課題解決型起業支援事業」を、今年「わかやま中小企業元気ファンド事業」「集団出展事業(☆)」を活用し、目覚ましいスピードで、ビジョンの実現に向けてステップアップしている。

奥川社長は「専門家がいる環境に入ること、自らをやらざるを得ない状況に追い込んでいる。財団は補助金だけでなくその後のサポートも手厚い。新たなチャレンジの場をもらえることに感謝している」と語った。

### 起業をめざす人へ

「とりあえずやってみてください。アイデアもお金関係のことも、やってみるからこそ洗練される。動くからこそ課題やニーズに気づく。遅いスピードでもいいので、とりあえず一歩踏み出してみてください」

☆p8をチェック!



## わかやま地域課題解決型起業支援事業

起業を考えているあなたに！

### わかやま地域課題解決型起業支援補助金

人口流出、高齢化、働き口の減少、防災など、地域社会はつねに多くの課題を抱えています。これら地域課題を解決するアイデアで起業を考えている方にぜひ利用していただきたい補助金です。

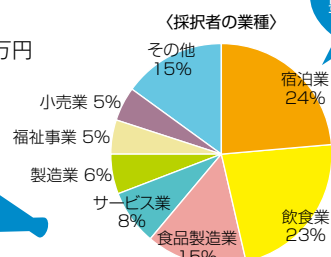
【対象者】 地域課題の解決を目的として新たに起業する者及び Society5.0関連業種等の付加価値の高い産業分野での事業承継又は第二創業する者  
※和歌山県内で事業を始める者に限る

【対象経費】 人件費、店舗等借料、設備費、原材料費、知的財産権等関連経費、謝金、旅費、外注費、委託費、マーケティング費、広報費、その他必要と認める経費

【補助金額】 対象経費の1/2以内、最大200万円

【募集時期】 4月上旬

お金の補助だけでなく、下記で紹介している「よろず支援拠点」と連携した勉強会や、その後のフォローアップ(伴走支援)もあります。是非チャレンジしてくださいね！



自然・食材の豊かさを生かした業種が強い

創業スクールで作った計画書を補助金申請に利用できる！

### わかやま創業スクール

「わかやま創業スクール」は、起業を成功させるために必要な知識・ノウハウを体系的に学ぶセミナーです。

ここでは、令和3年度(「わかやま起業塾」として9月から開催)の様子を少しだけご紹介します。



初日のオリエンテーションの様子。皆さん、やる気十分ですね！



実際に起業経験のある先輩方が講師。経験に裏打ちされた、実践的な講義とワークが魅力です。

まだまだあります！！

## 財団の創業支援メニュー

これから創業したい方、開業して間もない方にもしっかり使っていただける財団の事業・窓口をピックアップしてご紹介します！

### わかやま中小企業元気ファンド

和歌山県の地域資源を活用した新商品・新サービスの試作開発などを支援します。

【対象経費】 外部専門家の謝金・旅費、原材料費、外注加工費、広告宣伝費等  
【補助金額】 対象経費の2/3以内  
(1)地域資源活用分野A 最大100万円未満  
(2)地域資源活用分野B 最大600万円  
【募集時期】 令和4年11月下旬頃  
～令和5年1月下旬頃(予定)

### ビジネスプランコンテスト & 創業支援セミナー

創業の準備として必要な「事業計画」のアイデアを競うコンテストを毎年開催しています。入賞者を決める「ビジネスプラン発表会」では、創業者の先輩による創業支援セミナーも同時開催。コンテスト最優秀賞入賞者(一般の部)には、賞金20万円!(高校生の部は5万円)

【ビジネスプラン発表会】令和5年2月12日

### 和歌山県よろず支援拠点

経営に関することなら何でも、何度でも無料で相談できる窓口をご存じですか?

それが、国が全国に設置した「よろず支援拠点」です! 創業時の計画作りやお店づくり、創業後の販促(名刺・チラシ・web等)様々なお悩み解決に向け、各分野の専門相談員がお手伝いします。少人数勉強会や、オンライン相談に加え、県内各地での出張相談会も定期的で開催していますので、ぜひ当拠点をご利用ください。相談は無料です!

### 企業プロデュース

商工会議所・商工会等が作成した「企業カルテ」を基に、事業計画策定や販路開拓の専門家を派遣し、解決法について提案します。

【対象者】 各商工会議所、各商工会の会員の方(原則、所属の商工会議所・商工会の経営指導員による「企業カルテ」作成後の申し込みとなります。)

【費用】 無料  
【派遣回数】 5回(1回あたり2時間)

### 販促ツール作成支援補助金

県内の中小企業者がウェブ媒体を活用した事業活動を行うにあたり、ウェブサイト等の作成又は改良を支援します。

また、補助金以外にも、ウェブサイトやSNS等を効果的に販促に活かす方法を学ぶ講座も開催していますので、あわせてご利用ください!

【補助金額】 対象経費の1/2以内、最大50万円  
【募集締切】 令和4年11月8日  
(予算上限に達し次第、募集を終了)  
※対象業種に制限があります。

### 国内展示会個別/集団出展支援

自社の製品を世に知ってもらい、販路を開拓するために、展示会への出店は大きな一手となります。

当財団では、国内展示会出展の小間物一部補助や、インターナショナル・ギフト・ショー等への和歌山県ブース集団出展事業を行っています。

【補助金額】 個別 対象経費の1/2以内、最大50万円  
集団 1小間7万5千円程度※展示会による(初出展の場合、さらに半額)  
【募集時期】 財団HPにて告知

## 編集後記

「わかやま産業通信」をお読みいただき、ありがとうございます。今回は創業特集ということで、和歌山を代表する創業者の皆様にお会いしてきました。創業者の皆様はさすがにお話し慣れていらっしゃるのか、ドキュメンタリー仕立てのお話はどれも面白く、つい取材にも熱が入ってしまいました(長時間お付き合いいただき、ありがとうございます)。

誌面の都合上、カットしたところも多かったのですが、創業者のお話は名エピソード、名言の宝庫でした。

まさに「創業」は人生をかけたドラマなのだ、と少々感傷に浸りながら、「味こいしぼり」でリッチなカフェタイム(休憩時間)を頂きたい。ちなみに、和歌山県の創業者といえば松下幸之助が有名ですが、「紀州のエジソン」と称される島正博財団理事長も名を馳せた創業者です(！)

稀代の発明家率いる当財団はこれからも県内企業の皆様に「キラリ」と輝いて頂きたい。今後ともどうぞ、よろしくお祈り致します。

# キラリ★県内スタートアップ!

- Q1 創業のきっかけは?
- Q2 なぜ和歌山で創業を?
- Q3 今の思いを教えてください!

発達障がい者の服の悩みを解決!  
fukufuku312/ 前田 香

A1. 発達障がいの息子が服にこだわりがあり、市販の服には1人で気持ちよく着用出来るものが中々見つからないのが常でした。発達障がいとともに生きる多くの親子が自分たちと同じ悩みを抱えており、「それなら自分で作ろう!」と思い立ちました。

A2. 和歌山生まれ、和歌山育ちなので(笑) 事業は服の企画販売・ネット販売の為、場所を選びません。

A3. 発達障がい者だけでなく、色んな人に寄り添った服が当たり前あって、簡単に手に取れる…企業様や当事者、みんなを巻き込んで、そんな世の中を一緒に作りたくて考えています。

#発達障がい者 #オールフロントT #タッチdeきるんT

塩と紫蘇だけ!梅農家 納得の梅の味を食卓に (梅うめひかり)/ 山本 将志郎

A1. 兄が実家の梅農家の5代目を継いだのですが、「梅を育てても全て調味液の味になる。栽培にやりがいを感じられない」と話すのを聞いて、梅農家がやりがいを感じられる梅干しをつくらうと思いました。

A2. 元々は県外の大学で異分野の研究をし、就職も決まっていた。しかし兄の言葉と、日本各地での販売イベントが好評だったことから、地元に戻って梅干し屋をする決意を固めました。

A3. 3年間で札幌50店舗、全国100店舗で取扱ってもらえ、自分たちの梅干しが認知されてきていると感じます。交流を経て4人の梅農家も生まれており、「一次産業はまだまだいける!」という心境です。

#梅農家継承 #梅ボーイズ

県食材をつかった オーダーメイドケータリング ozz\_kitchen/ 石井 佳奈

A1. 元は飲食店に勤め、ケータリングの仕込みをしていました。自分の拠点で自由に料理して、和歌山の食材の良さを大勢に伝えたい!という思いから、独立を決意し、ケータリング専門店を開業しました。

A2. 生産者さんと直接やりとりできる環境を求め移住先を探しました。四季を通して様々な食材が豊富にあることが、和歌山を選んだ1番の決め手でした。

A3. 開業後、コロナ禍で大規模ケータリングは難航。弁当販売等に注力し、味や店のコンセプトを知ってもらいました。「料理に使っている野菜を売りたい!」の声を聞き、食品店も開店。何でも楽しみ、求めに応える。その繰り返しの大切さを感じています。

#和歌山ケータリング #オーガニック野菜

紀州材ストローハットで 環境保全を motomoto(株)/ 岡本 一志

A1. 麦わら帽子職人として活動する中で、天然素材が年々減少していくのを実感していました。身近な資源を活用して新しい素材を開発し、帽子を作りたいと思いました。

A2. 和歌山は妻の出身地という縁があり、私自身も三重県熊野市出身で、幼い頃から紀州材が身近にありました。身近すぎて気に留めていなかったのですが、今は紀州材の可能性に惹かれています。

A3. 日本の紙原料の多くは輸入に頼っており、一方で日本には杉やヒノキの放置林が土砂災害や花粉問題につながっています。こういった木を素材として有効活用することで、森林保全につながればと思います。

#紀州材 #丁寧な仕事 #軽くてかぶりやすい帽子

地域に根差し地域と一緒に考えるレストラン caravansarai/ 更井 亮介

A1. 畑を荒らす猪や鹿のジビエ肉、地元農家の野菜を使った地元密着レストランで、地元みんなのたまり場を提供したい、地元に貢献したいという思いがありました。

A2. 県外で10年間料理人をしていましたが、地元への愛着、地元の知った方々に料理を作りたいという思いから、約4年前にUターン帰省。祖父の梅蔵を利用しての開業を決めました。

A3. 開業直後のコロナ禍で休業を余儀なくされましたが、その中でも地元の方々に関わっていきましました。梅の収穫期の農家弁当販売など、手ごたえを感じた取り組みもあります。地元を愛する料理人として、これからも変わりゆく地域と共に歩んでいきます。

#ジビエ #地産地消 #ミシュラン「グリーンスター」

高野口パイル活用で 地元産業を活性化 Re:bero/ 金子 あかね

A1. 地元で「高野口パイル」を扱う会社と長年の付き合いがあり、その高い品質に対し知名度が低いという問題があることを聞いていました。気軽に製品に触れ、交流し、「高野口パイルはここで買える」という場所をつくってみたいと思ったのです。

A2. 「高野口パイル」と銘打って売られている事が少ないため、まずは地元からその存在を発信する必要があると考え、地元で拠点をつくりました。

A3. 移動販売トラックも整備し、日本各地に出張できる体制も整えました。地元でなにか面白い事している人がいる…という認識が少しずつ広がっていると実感しています。今後はこの織物を使って、地元からオリジナルブランドが生まれていく…そんな未来を想像しています。

#高野口パイル #フェイクファー #ぬいぐるみ



# 支援案内

あなたの挑戦したいことから、わかやま産業振興財団の支援メニューを逆引きで見つけられます。詳細については、各担当者までお問い合わせください。

◆産業振興サポートメールは最新支援情報を無料でお知らせ！  
財団、関係機関の実施する各種施策をご紹介  
登録は二次元コード  
または、URLまで <https://yarukiouendan.or.jp/support/>



補 補助金・助成金等による支援    相 相談窓口・専門員訪問等による支援    情 セミナー・情報提供による支援

## 1 創業したい！

### 創業支援セミナー 相 情

創業を志す方を対象に、知識を習得する講座や経験者による講演、ビジネスプランコンテストを関係団体と共に行います。セミナー後は個別相談や交流会等も実施します。

担当：インキュベーションマネージャー TEL:073-432-3412

### 地域課題解決型起業支援事業 補 相

創業に要する経費の一部を補助します。採択者の方には、事業計画や資金・労務・販路開拓等への助言などの伴走支援を実施します。

担当：わかやま地域課題解決型起業支援チーム TEL:073-432-3220

## 2 経営改善したい！

### よろず支援拠点 相 情

中小企業・小規模事業者の売上拡大・経営改善等の経営上の様々なお悩みに対応します。多様な専門家が無料で何度でも相談対応いたします。ITを活用した生産性向上・人手不足・事業承継といった国の政策的重点分野のご相談にも是非ご活用ください。

担当：和歌山県よろず支援拠点 TEL:073-433-3100

### 企業プロデュース 相

企業の経営診断・経営支援を行います。商工会議所、商工会等が作成した『企業カルテ』を基に専門家集団が解決法について提案します。

担当：産業支援班 TEL:073-432-3227

### 専門家派遣事業 相

経営革新に取り組みたい方、新商品開発や新分野進出を目指している方など、意欲ある中小企業者へ登録専門家を派遣します。

担当：産業支援班 TEL:073-432-3227

## 3 人材育成・人材導入したい！

### プロフェッショナル人材戦略拠点 相 情

新事業の創出、既存事業の拡大、生産性の向上など、企業の『攻めの経営』をリードする、プロフェッショナル人材の採用や活用を支援します。

担当：和歌山県プロフェッショナル人材戦略拠点 TEL:073-433-3110

### 成長企業支援事業 補

県内事業者の中核を担う人材を導入するために係る費用を補助します。

担当：和歌山県プロフェッショナル人材戦略拠点 TEL:073-433-3110

### 技術人材育成のための基礎技術講座 相 情

生産現場部門の管理者、リーダーの方を対象に、生産性向上を目指すために必要な生産管理の各種手法について学んでいただく研修を開催します。

担当：テクノ振興班 TEL:073-432-5122

### わかやま生産性向上スクール 相 情

現場の課題を見出し、生産性や品質等の向上の為の手法を体系的に学び、企業利益の礎となる実践的人材を育成します。

担当：わかやま地域活性化雇用創造プロジェクト TEL:073-433-8556  
※和歌山ものづくり経営改善スクール後継事業

## 4 技術開発したい！

### 成長型中小企業等研究開発支援事業 補

中小企業者等が大学・公設試等と連携して行う、ものづくり基盤技術等の高度化につながる研究開発やその事業化を支援します。

担当：テクノ振興班 TEL:073-432-5122

### 外国出願支援事業 補

外国での事業展開を計画する中小企業者を対象に、戦略的な産業財産権の取得に向けた外国出願に係る費用を補助します。

担当：テクノ振興班 TEL:073-432-5122

### 知的財産戦略事業 相 情

知的財産の活用や特許技術のマッチング、休眠特許の有効利用など、様々な観点から各コーディネーターが支援します。

担当：テクノ振興班 TEL:073-432-5122

## 5 新たな取組をしたい！

### システムカイゼン促進支援補助金 補

県内中小企業者が業務効率化や経営管理体制の強化を目的としたシステム導入に係る費用を補助します。

担当：テクノ振興班 TEL:073-432-5122

### 販促ツール作成支援補助金 補

県内中小企業者が行う販売促進ツールとしてのウェブサイト等の作成又は改良に係る費用を補助します。

担当：テクノ振興班 TEL:073-432-5122

### DX推進員 相

自社の付加価値向上のためDX(デジタルトランスフォーメーション)に取り組む県内企業者に対し、助言や適切な支援事業の提案を行います。

担当：わかやま地域活性化雇用創造プロジェクト TEL:073-433-8556

### 元気ファンド・農商工連携ファンド 補

地域資源の活用又は中小企業者と農林漁業者との連携による新商品・新サービスの開発等に係る費用を補助します。

担当：産業支援班 TEL:073-432-3227

### 事業再構築等支援総合相談窓口 相

専門コーディネーターが県内事業者の思いきった「事業再構築の推進」をサポートします。

担当：和歌山県事業再構築等支援総合相談窓口 TEL:073-499-8860

### わかやま地域活性化雇用創造プロジェクト 情

安定的で良質な雇用創出と企業の競争力向上を図るためのデジタルトランスフォーメーション(DX)に関するセミナー・ゼミを開催します。

担当：わかやま地域活性化雇用創造プロジェクト TEL:073-433-8556

### 専門技術研究会 補

大学・工業高等専門学校・公設試験研究機関の研究者・中小企業等が主宰する研究会の運営活動経費を補助します。

担当：テクノ振興班 TEL:073-432-5122

### テクノ・ビジネスフェア 相 情

大学・工業高等専門学校・公設試験研究機関の研究成果や技術ノウハウの発表会を開催し、情報交換の場を提供します。

担当：テクノ振興班 TEL:073-432-5122

### テクノサロン 情

各業界で活躍する講師による講演及び交流会を通じて、県内の産学官のより一層の交流を図ります。

担当：テクノ振興班 TEL:073-432-5122

## 6 新しい取引先を開拓したい！

### 下請取引あっせん 相 情

取引推進専門員が中小企業を訪問し、受注機会の拡大を支援します。また、大手メーカーを招いた商談会等を開催し、新たな受注機会を提供します。

担当：企業支援班 TEL:073-432-3235

### 展示会出展支援 補

国内・海外の展示会への出展に係る費用を補助します。また、集団出展形式でいくつかの国内外展示会への出展を支援します。

担当：企業支援班 TEL:073-432-3235

### 海外市場開拓支援 相 情

海外進出に関心がある方を対象に、市場調査の実施、貿易や投資などに関する国際間取引の相談を行います。

担当：和歌山国際経済サポートデスク TEL:073-433-2837

### わかやま産品商談会in和歌山 情

優れた和歌山県産品を有する県内企業と県内外購買企業との商談の場を提供し、販路開拓を支援します。

担当：企業支援班 TEL:073-432-3235

### わかやま企業力向上販売戦略支援事業 相 情

自社製品を有する県内企業に対して、専門家指導のもと、市場調査の実施や販売戦略のブラッシュアップを行い、企画から販売までの一貫した伴走支援を行います。

担当：企業支援班 TEL:073-432-3235

## 7 下請の相談をしたい！

### 下請かけこみ寺 相

中小企業者が抱える取引上のトラブルでお困りの方に、問題解決に向けたアドバイスを行います。

担当：和歌山下請かけこみ寺 TEL:0120-418-618



広告

中野BCは地域の薬用資源に着目し、  
人々の健康に役立つための、  
機能性研究に取り組んでいます。



新たな価値を創造し、  
「和歌山から世界」へ。

**中野BC株式会社**  
(Biochemical Creation)  
〒642-0034 和歌山県海南市藤白758-45  
TEL.073-482-1234 FAX.073-482-2244  
http://www.nakano-group.co.jp/

**わかるをつくる**  
BEEは、ごろごろな「わかる」を  
ITとデザインで「つくる」会社です。

DX支援    ブランディング    マーケティング支援

〒640-8044  
和歌山市板屋町22番地 和歌山中央通りビル4F  
TEL.073-494-3423 FAX.073-494-3430  
https://bee-design.co.jp/



アパレル関係    寝具関係    工業資材関係

合繊メーカー・毛紡・商社との協力体制のもとに高品質の  
魅力あるパイル商品を企画、生産、販売しています。

衣料用は感性・風合い

寝装用は清潔・快適性

資材用は  
機能を大切にした特徴ある商品を

新しいパイル商品の創造を求めて、企画提案・研究開発の  
物づくり集団としての企業を目指して挑戦しています！

**青野パイル株式会社**  
〒649-7206  
和歌山県橋本市高野口向島78-4  
TEL.0736-42-3185 FAX.0736-43-2431



**超微粒子粉末鋼**  
**HYS**  
COMFORTABLE SCISSOR for Professional  
HAYASHI SCISSORS



## 賛助会員一覧

- |                         |                      |                         |
|-------------------------|----------------------|-------------------------|
| 1 株式会社アイスティサイエンス        | 25 小松屋株式会社           | 49 東洋ライス株式会社            |
| 2 アイレス電子工業株式会社          | 26 劑盛堂薬品株式会社         | 50 中田食品株式会社             |
| 3 青野パイル株式会社             | 27 株式会社サイバーリンクス      | 51 中野BC株式会社             |
| 4 アクロナイネン株式会社           | 28 株式会社サンアクティス       | 52 株式会社名手酒造店            |
| 5 株式会社東農園               | 29 株式会社山東鐵工所         | 53 南海化学株式会社             |
| 6 株式会社石橋                | 30 株式会社システムキューブ      | 54 西岡総合印刷株式会社           |
| 7 株式会社稲葉                | 31 株式会社島精機製作所        | 55 日進化学株式会社             |
| 8 株式会社インテリックス           | 32 株式会社シマファインプレス     | 56 株式会社日本化学工業所          |
| 9 株式会社オーエ               | 33 新中村化学工業株式会社       | 57 阪和電子工業株式会社           |
| 10 一般財団法人<br>大阪科学技術センター | 34 スガイ化学工業株式会社       | 58 ヒカリ技研株式会社            |
| 11 株式会社尾高工作所            | 35 杉本特許事務所<br>和歌山事務所 | 59 富士化学工業株式会社           |
| 12 花王株式会社和歌山工場          | 36 セイカ株式会社           | 60 伏虎金属工業株式会社           |
| 13 笠野興産株式会社             | 37 セイコーメディカル株式会社     | 61 株式会社ふみこ農園            |
| 14 有限会社紀州化成工場           | 38 株式会社タイボー          | 62 北広ケミカル株式会社           |
| 15 紀州技研工業株式会社           | 39 大伸化学工業株式会社        | 63 本州化学工業株式会社           |
| 16 株式会社紀州ほそ川            | 40 協業組合太成            | 64 株式会社丸惣               |
| 17 紀南農業協同組合             | 41 太洋工業株式会社          | 65 三木理研工業株式会社           |
| 18 株式会社共栄テクシード          | 42 竹島鉄工建設株式会社        | 66 株式会社メイワ              |
| 19 有限会社串本儀平             | 43 太陽シールパック株式会社      | 67 株式会社明和製作所            |
| 20 紀和化学工業株式会社           | 44 大洋鑄造株式会社          | 68 森下機械株式会社             |
| 21 株式会社紀和実験動物研究所        | 45 大和化成工業株式会社        | 69 和歌山県織物工業協同組合         |
| 22 株式会社寿精密              | 46 株式会社タニノプラント産業     | 70 和歌山染工株式会社            |
| 23 小西化学工業株式会社           | 47 田端酒造株式会社          | 71 和歌山ノーキョー食品工業<br>株式会社 |
| 24 株式会社小松原              | 48 築野食品工業株式会社        | 72 ワコー株式会社              |

令和4年7月末現在 合計72社（五十音順）

わかやま産業振興財団では、賛助会員を募集しています。「地域の産業技術の振興を図ること」にご賛同して  
いただける事業者様、是非ご入会をお待ちしております。

◇賛助会員には、次の特典があります◇

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| ①各種事業の案内（財団、県、その他団体等の事業） | ③テクノサロンへの参加資格   |
| ②各種技術研修等参加費の減額           | ④広報誌への広告掲載50%割引 |



**公益財団法人**  
**わかやま産業振興財団**  
〒640-8033  
和歌山市本町二丁目1番地 フォルテワジマ6階  
<担当> テクノ振興部 Tel:073-432-5122 Fax:073-432-3314



広告



時代は変わる、



想いは変わらない。

どんなに世の中が変わっても。  
お困りごとがないか  
気をくばり、人を見つめ、  
悩んでいる人がいれば、  
いっしょになって考える。  
地域のみなさま  
お一人おひとりに寄り添い、  
どこまでも向き合う  
銀行でありたい。  
創業以来、変わらない  
私たちの想いです。



広告



中小企業の、  
いまを支える。  
先をえがく。

社会が変わるそのとき、1社1社のすぐそばで。



和歌山支店 TEL:073(432)1281 〒640-8152 和歌山市十番丁2-1

<https://www.shokochukin.co.jp/>